

# 平成29年度 地域ケアプラザ事業計画書

## 1 施設名

横浜市能見台地域ケアプラザ

## 2 事業計画

### 1 全事業共通

#### 地域の現状と課題について

能見台地域ケアプラザのエリアは、4地区連合にまたがっており、広い地域となっています。29年度は、各地区のケアプラザとしての機能を十分に果たすとともに、4地区をつなぐ役割をケアプラザが担い、各地区の情報交換を促進し地域の福祉の向上を図ります。

富岡西・能見台地区では、駅前商店街、住宅地、マンション群など混在する地域特性から、地区として全体的な動きがとりにくいという課題がありますので、個々の地域にあったきめの細かい支援を行っていきます。

能見台地区は、若い担い手が多く活動が活発な地域で、施設の利用も最も多い地区であるため、地区の活力をいかして引き続き地区の皆さんの自主活動を支援していきます。将来の高齢化が課題であるため、エリア内での情報共有を促進して、来るべき高齢化に備えることについて支援をしていきます。

金沢東部地区については、地区社会福祉協議会の活動が熱心であり、ケアプラザとしてはその取り組みを他の地区に伝えることにより、相互の相乗効果を期待した支援を行います。ケアプラザへの距離が課題となっておりますが、アウトリーチを含めケアプラザの機能を利用しやすいよう協力をしていきます。

金沢中部地区は、一部が能見台のエリアとなっており、地域活動に熱心な地域です。引き続き泥亀ケアプラザとともに、地域支援チームの一員として、支援をしていきます。他の地区同様に担い手の高齢化が課題となっておりますが、他地区の取り組みを紹介するなど、支援をしていきます。

#### (1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

高齢者だけでなく子どもや障害分野の相談など、多様なライフステージの相談に対応する場として、ケアプラザを利用することが出来る様に、所内会議でケアプラザの職員の意識を高め、ケアプラザ全体で受け止められるように努めます。また、ケアプラザの自主事業の際や出前講座などで、ケアプラザ機能の広報を行い、地域のみなさんの身近な相談窓口の存在周知に努めます。

#### (2) 各事業の連携

相談、活動団体へのヒアリング、自主事業並びに共催・協働事業実施等の諸場面において得た情報を、プラザ内で共有し事業等の運営に生かすため、地域活動交流部門と地域包括支援センターで地域情報の共有として活用している『地区支援記録』に記録を残すことにより、双方の連携を図ります。

地域活動交流において高齢者支援事業を企画・立案する際に、包括4職種から現況、方向性等の適切な情報を得て、事業を実施します。

高齢者を対象としたサロンや食事会等の自主事業、認知症サポーター養成講座等を

連携させ、地域と共催で実施しそれぞれの特性を生かします。

地域支え合い連絡会を連携し開催することにより、担当地域の現状把握、少子高齢化を大きな要因とする、地域の抱える課題「活動に係る人材・担い手不足、福祉保健活動グループの高齢化等」への理解を踏まえ、新たな事業の展開を図ります。

### (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

29年度も、適正に指定管理業務を遂行できる職員体制を維持します。

生活支援コーディネーターは地域包括支援センター・地域活動交流コーディネーターとともに、一体として機能するよう、ケアプラザ全体で連携し、職務遂行に万全を期します。

個人情報保護については全員研修を行うとともに、あらゆる機会をとらえて取り扱いを徹底します。

あわせて職員の育成のための研修について、行政及び社会福祉協議会等と連携して、職員の資質向上に努めます。

具体的には、外部研修と内部研修を効率的に組み合わせて、研修計画に基づき、全体研修、専門研修、技術向上研修、階層別研修などを実施することにより、きめの細かい研修を行います。

研修報告書をケアプラザ内で共有することで、職員が得た学びを日頃の業務に生かします。

なお公の施設としての自覚をもって、利用者に対して、公正中立性を持った対応をするように、研修や所内会議の中で全職員に対して徹底をしていきます。

### (4) 地域福祉のネットワーク構築

地域支えあい連絡会、子育て支援連絡会、学校と施設の連絡会等の各種連絡会を定期的に行い、情報交換や共有をすることでネットワークの構築を図ります。

地域支え合い連絡会では地域の町内会単位からの情報収集・情報提供ができるよう偏りのないメンバー選出に努め、その他連絡会を行うことで多方面からの視点で地域をアセスメントできるよう、関連団体、関連機関と協力してより細かい福祉課題について地域福祉のネットワークの推進を図ります。

地域ケア会議は、多職種のネットワーク構築の会議を適宜開催し、地域包括ケアシステムの構築を進めます。

各種連絡会にて、地域の福祉活動の情報交換・共有をするとともに、関係者に一同に集まっていたいただき顔つなぎの関係づくりを支援します。

その他職員が地域やNPOの会合などに出向き、また事業を通じて地域福祉のネットワークにつながる人材との交流を図ります。

### (5) 区行政との協働

29年度は第3期地域福祉保健計画の二年度目となりますが、地域に最も近い公の施設として行政との情報共有に努めます。

引き続き、業務連携指針等に従い、区とさらに緊密に連携・協働して、地域の課題を抽出し、ケアプラザの役割として解決に向けた方向性を明らかにしていきます。

その他地域活動交流部門で実施している連絡会や、自主事業にて区行政と協働して事業を行ってまいります。

今年度の重点目標にある区内2大学の学生対象のボランティア育成講座を、区を始めとして、区内8ケアプラザ・区社協と協働して開催いたします。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

- 各事業において企画段階より目的、目標を明確にし、職員会議や伺いなどを通じケアプラザ全体で共有し、達成に努めます。
  - 定員を定めた事業は80%以上の参加率を達成します。
  - ケアプラザから距離があり、利用する機会の少ない地域への積極的な働きかけと、ニーズの収集に努めます。
  - 施設内だけでなく、出前講座などを実施します。
- ア) 高齢者支援では、地域包括支援センター職員、生活支援コーディネーター、また居宅介護支援、通所介護の職員などからの情報提供を適宜うけ、ニーズに的確に対応する事業を企画・実施します。サロン、料理等の交流と見守り事業、音読・麻雀・パソコン等、の認知症予防対応の事業、健康サポート教室による健康体操を実施します。
- イ) 子育て支援では、ボランティア活動団体「にこにこ会」との広場を実施します。金沢区子育て支援拠点「とことこ」「能見台地域ケアプラザ子育て支援連絡会」区や関係機関との連携、協働により事業を進めます。又、登録団体と共催にて学童期の親子を対象にした事業を2つ以上実施します。
- ウ) 障害児者支援では、学齢期障害児余暇支援事業「フリーティード」、青年期障害者余暇支援事業「ハッピーポップ」を実施、どちらも家族会を開催し保護者との連携もとり事業の充実を図ります。また「スマイルカフェ」では障害児養育者の心のケアを図り、参加者が交流・リフレッシュできる居場所を作ると共に、ボランティア活動団体である「スマイルカフェ」の自主的な活動に向けた支援を行います。
- エ) 世代間交流事業では、地域の誰もが参加できる「手打ちそば教室」「囲碁サロン」地区センターとの協働事業の「合同祭」「合同防災講座」、病院と連携した「医療講座」の他、登録団体との共催にて地域の多世代参加の事業を実施します。
- オ) ボランティア関連事業では活動者の意識やモチベーションを高める講座や事業の他、新たなボランティア育成のための講座も実施します。

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 日曜や夜間などの利用頻度が低い時間帯の部屋の利用促進にむけた広報と啓発を常に行います。
- 部屋の予約状況を毎月エントランスに掲示し、空き状況の周知をします。
- 各地区連合、地区社協、地区民児協、金沢区子育て支援拠点との共催事業を進んで企画、開催し地域との協働を推進します。
- ケアプラザホームページにて部屋の写真と利用可能人数を表示し福祉保健活動団体、地域団体が利用できる旨表記するとともに、各事業参加者にも皆様のための福祉活動施設であることを告知します。
- 登録団体と福祉目的の事業を企画、開催し、地域の方と団体それぞれにメリットの

ある活動の場を提供します。

- 毎日、部屋の換気や清掃を職員が進んで行き、利用しやすい環境を整えます。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

- 新たな若い担い手の育成とボランティア活動の大切さを啓発するため大学、区社協、区内ケアプラザと共催し出張講座にて大学生対象のボランティア育成講座を実施します。
- ケアプラザを利用している配食、会食ボランティア団体や調理活動をしている障害者自助活動団体、地域の方を対象に食品衛生講習会、安全運転講習会を実施します。
- 包括支援センター、生活支援コーディネーターと連携し地域の担い手となる方を対象にニーズに沿った活動に有益となる講座の実施を行います。
- 地域の施設やサロンからのボランティア派遣要請にはケアプラザ利用ボランティア団体を紹介し地域に向けた活動の場を提供することで、双方に有益なコーディネートを行います。また、常々、区社協のボランティアセンターと連携をとり協力も得てコーディネートします。
- ケアプラザを利用するボランティア団体を積極的にケアプラザの自主事業への参加を依頼し活動の場を提供しモチベーションを高めます。
- 事業、会議等あらゆる場面で人材の不足、担い手の高齢化を周知しボランティア活動への参加を促します。ボランティア交流会においては相互の活動の理解と横のつながり協力体制を築けるよう支援します。
- ケアプラザ内掲示板にて、団体の活動紹介を掲示し、地域の方へ向け団体活動への興味関心、参加を促します。

### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 地域支えあい連絡会、協議体、子育て支援連絡会、ボランティア交流会を実施し地域状況の情報収集、及び行政、社協、ケアプラザからの情報提供をいたします。
- 区、区社協、近隣施設からの配架物や掲示物は分類ごとに分け見やすいように工夫して配架、掲示いたします。また、ケアプラザ登録団体の活動紹介カードも掲示し、利用者に情報提供します。
- 利用者アンケートで得たご意見ご要望をケアプラザの事業に生かすと共に広報紙などを利用し地域に向け発信します。
- 区、区社協からの情報、地域に出向いた際に得た情報を地域包括支援センター、生活支援コーディネーターと共有している「地域支援記録」のツールを使いケアプラザ内で共有し情報提供に生かします。
- ケアプラザ独自のチラシ、広報紙、ホームページ、SNS等幅広い世代にあった情報を発信すると共に、区広報紙、イベントお届け便など様々な媒体も利用し区域の皆様に向け情報提供します。
- 近隣施設、商業施設とも連携をとり、情報の発信収集の協力体制を築きます。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

- 地域支えあい連絡会、協議体を通じて地域活動交流・地域包括支援センターと連携し、地区別の生活課題について把握し、エリア全体として取り組むべき課題について検討します。
- 生活支援コーディネーター連絡会等を通じて、区役所、区社協、他ケアプラザと事業推進のための情報共有を図っていきます。

#### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- 地域包括支援センター・地域活動交流とともに自治会・町内会、民児協や地区社協との連携を図り、各地区の生活課題やニーズの把握に努めます。地域のサロン、体操教室など地域住民が集う場にも積極的に足を運び、キーパーソンとの連携を強めていきます。片吹で週1回開催されているサロンには月1回出向き、情報提供や健康維持・介護予防のミニプログラムを実施します。
- 地区社協や自治会等住民主体の地域活動、民間業者が実施している生活支援サービス等情報収集に努め、地域資源リストをまとめ、相談業務やケアマネジメント等に活用できるよう更新していきます。
- 介護予防・生活支援サービス補助事業に関しては さくら茶屋にししばの申請段階より区・区社協とともに後方支援していきます。制度の理解を深め、他団体にも適宜情報提供していきます。

#### (3) 連携・協議の場

- 自治会、町内会、地区社協等地域で行われている話し合いの場と連携を図りながら地域課題にとともに取り組めるよう努めます。
- 地域支えあい連絡会や地域の話し合いの場を活用しながら協議体を開催し、必要な生活支援・介護予防・社会参加にかかる活動やサービスの創出・継続・発展に向けた働きかけを行っていきます。地域活動の活性化を図るため、地域包括支援センター・地域活動交流とともにサロン等の担い手を対象とした講座や交流会を実施します。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- 生活支援コーディネーター連絡会や研修等を通じて、区役所、区社協、他ケアプラザと事業推進のための情報共有を図り、より広域の地域課題の把握に努めます。そこから担当圏域の地域課題と関連づけて取り組みに活かせるよう努めます。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ① 地域におけるネットワークの構築

- 地域包括ケアシステムの構築を目指し、個別地域ケア会議等で抽出した課題をケアプラザエリア地域ケア会議、他ネットワーク会議において検討します。また、社会資源マップやリストを作成し、関係者の認識の共有を図ります。
- エリアの大型ストア、銀行、郵便局、新聞配達所、病院、支援事業者などに出向き、地域包括支援センターの役割を周知すると共に、地域の高齢者を共に支援する関係を築きます。

#### ② 実態把握

- 民児協や地域のサロン、体操教室、町内会、自治会等に出向き、地区別のニーズを把握し、集団、個別相談につなげます。
- 地域支え合い連絡会を通して地域交流部門・生活支援コーディネーターと連携し、地区別の生活課題について把握し、エリア全体として取り組むべき課題について検討します。
- 民生委員や地域住民から、支援が必要な高齢者の情報提供をいただけるよう、日頃から顔の見える関係を築きます。
- 医療機関・福祉関係事業所に出向き、相談者の生活課題を共有し、常に相談できる体制を築きます。
- 各地区が行なう住民アンケートや聞き取りの結果を共有し、圏域の実態を把握します。

#### ③ 総合相談支援

- 日頃より、エリアの大型ストア・銀行・郵便局・新聞配達所・病院・支援事業者など主要機関に出向き地域包括支援センターの周知を図ると共に、地域で支援が必要な方を、共に支える関係を築きます。また、地域包括支援センター職員の写真入りチラシを活用し、気軽に相談できる体制作りに努めます。
- 介護保険サービスのみならず、インフォーマルサービスや見守り支援、自主事業など様々な社会資源を柔軟に活用し、継続的な支援を実施します。
- 地域のイベントやサロン、体操教室等に出向き、出張相談会を行うことで、包括支援センターの相談機能について広く普及していきます。

## (2) 権利擁護業務

### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 成年後見制度・遺言・相続についての個別相談会を専門職と開催し、気軽に相談できる場を作ります。
- 日頃より、銀行・郵便局・警察と連携し高齢者の詐欺被害の防止に努めます。
- 地域に出向き、金沢警察、消費生活センターなどの最新の情報をお伝えすることで消費者被害の防止に努めます。

### ② 高齢者虐待への対応

- 介護者の集いを開催し、介護をしている方の情報交換の場として偶数月におしゃべりの会、奇数月に各種セミナーを行うことで、介護者の不安を取り除き孤立を防ぎます。
- 区内社会福祉士の勉強会を継続し、緊急性の判断や虐待のサインを見逃さず、区内統一した対応ができるよう努めます。
- 地域包括支援センターが虐待相談窓口であることをケアプラザの広報誌などを通して関係機関や地域住民に広く周知を図ります。また、相談者や通報者の不安を取り除き、迅速に関係機関との連携を行い対応します。

### ③ 認知症

- キャラバンメイトと協働で、認知症サポーター養成講座を地域や職域学校などで、依頼に応じて実施します。特に活躍の機会の少ないキャラバンメイトが、活動の機会が持てるよう後方支援を行います。
- 認知症予防として、エビデンスのあるコグニサイズやスリーAを取り入れた介護予防事業や、ボランティアを対象とした人材育成講座を開催します。
- 認知症に関する相談には、医療や介護などの情報提供を行い、多角的で継続的なサポートを行います。また、医師や医療関係者による講演会を開催し、症状の理解について地域住民に広く普及します。
- 認知症家族介護者が、互いに情報共有し、専門職による相談支援が継続して受けられる場として、介護者の会を月1回開催します。
- エリアのさくら茶屋にししばが主催する認知症カフェへの後方支援として、月1回のさくらカフェオレンジデーには専門職として区と協働で参加し、当事者、家族、ボランティアへの支援を行います。

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ケアプラザ・包括支援センターの役割・周知のために、地域住民を対象とした出張講演会・相談会等、情報提供を行い地域住民の意識向上に努めます。また、講演会を開催し、地域包括支援センターと地域住民が対話でき、在宅での生活がイメージできる会を開催します。
- 4 地区民児協に参加し、随時情報提供を行い連携が取りやすい関係を構築します。
- 地域の課題を踏まえ民生委員・地域ボランティア団体と福祉専門職の共同勉強会を開催し、連携が取りやすいネットワーク体制を構築・発展させていきます。
- エリア内グループホーム・小規模多機能型施設と地域住民が相互理解を図り、地域間の交流がとりやすいよう支援していきます。
- 地域で生活する視点を大切にするために様々な地域の情報の収集・整理を行い、ケアマネジャーに情報提供・活用ができるよう提案します。

#### ② 医療・介護の連携推進支援

- 区内包括共催で区内・近隣の総合病院の MSW との連絡会を開催し、相談者・ケアマネジャーへの支援が円滑に行う事のできる体制を継続・発展させていきます。
- 地域の開業医・薬局に順次訪問、提案や相談を把握し、連携がしやすい基盤を作っていきます。
- 金沢区医師会・薬剤師会との連携を取りやすくするためのネットワーク会議・勉強会を開催します。併せて医師会医療相談室と連携し、研修等企画をしていきます。
- 北部ブロックの開業医・訪問看護師・薬剤師とケアマネジャー・包括の「北部医療ネットワーク」会議を中核とし、医療課題の抽出・検討を行い課題解決に努めます。

#### ③ ケアマネジャー支援

- 区内地域包括支援センター主任ケアマネジャーの共催でケアマネジャーの勉強会及び新任ケアマネジャー研修を企画・実施していきます。
- 区内事業所の主任ケアマネジャーの支援・質の向上・事業所を越えた連携を目指し「主任ケアマネジャーネットワーク」にて勉強会・ネットワーク会議を開催します。
- 北部ブロック主任ケアマネジャーの共催でケアマネジャーのフリーな相談場所として「ケアマネカフェ」を定期的に開催します。
- 主任ケアマネジャー部会、保健師部会の共催で、総合事業・介護予防に関する研修を実施し、自立支援のためのケアマネジメント力を高めていきます。
- ケアマネジャーのケアマネジメントの実践力を高める為、地域ケア会議を定期的で開催します。併せて様々な関係者のネットワーク構築につながるよう努めます。
- 個別相談・ケアプランの立て方に関しては随時対応します。  
特に新任ケアマネジャーの担当者会議には同行します。
- 処遇困難ケースに関しては専門機関と連携が取れるようケアマネジャー及び事業所と協働していきます。
- 北部ブロックを中心とした居宅介護支援事業所を訪問し、随時情報提供・研修案内・相談を受け付けます。又、ケアマネジャーが抱える課題を抽出し、研修企画を行います。様々な課題は各ネットワーク会議にて検討します。

#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- エリアの開業医、薬局、交番、銀行、郵便局、コンビニ、新聞配達所、スーパーに出向き、気になる高齢者について情報提供いただけるよう包括の案内と機能について周知していきます。
- 個別地域ケア会議には、生活支援コーディネーター、区社協、区役所等、関連する様々な専門職種に参加依頼を行い、連携が取りやすい体制を整えていきます。
- 個別地域ケア会議から抽出した課題を、該当するネットワーク会議にて検討・解決していきます。特に能見台エリアの特徴である障害者支援施設との連携の構築に努めます。

#### (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

##### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- 高齢者一人ひとりのできる力に着目し、実現可能で目標志向型のケアプランを作成します。介護保険制度の改正を踏まえ、日常生活支援総合事業へスムーズに移行されるよう、情報提供を行います。また、利用者が日常生活圏域で利用できる様々な社会資源についても情報提供し、インフォーマルサービスを充実させたケアプランを提案します。委託先のケアマネジャーと連携し、適切なケアマネジメントができるよう、地域の社会資源について具体的な資料を配布するなど積極的に情報提供し、個々のケアプランに反映できるよう助言します。

#### (6) 一般介護予防事業

##### 一般介護予防事業

- 高齢者の居場所作り、仲間作りの場として、月3回の体操教室を開催します。参加者のその日の人数や個々の体調や体力などを鑑みて、プログラム構成を変えるなど、講師と相談しながら調整します。認知症予防に効果のある、コグニサイズも実施し、個人差があっても周囲を気にせず楽しく取り組めるよう、個別や集団への声かけをしながら支援していきます。また、冒頭の挨拶の後で、包括看護職による、ミニ講話や、保健指導を実施します。（上半期は熱中症予防の普及啓発など）
- 地域のサロン、体操教室に出向き、地域型の介護予防教室やコミュニティの後方支援を行い、介護予防の普及強化を行います。
- 各町内会、自治会のキーパーソンと連携し、地域の課題に合わせた介護予防事業の開催や地域の食事会やサロンに出向き、介護予防講話などを積極的に実施します。

## その他

--

### 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

建設から15年目になり、老朽化がいつそう進むことが予想されます。専門家による12条点検において、さまざまな修理箇所が指摘されました。全体的に施設のメンテナンスが必要となっています。予算の関係では、区と協議し、優先順位を決めて、順次修理をしていきます。

引き続き地区センターと協力して、順次施設の不具合を点検して、全体の施設の適正管理を図ってまいります。

#### イ 効率的な運営への取組について

済生会コンプライアンスに基づいて、社会福祉法人として高い倫理性をもって、効率的運営を図っていきます。特に済生会の強みである組織のスケールメリットを生かして、さまざまな情報を共有化することにより、施設間相互の効率的試みについて情報を共有して、効率化を図っていきます。そのため各施設同士の交流会を実施し具体的な効率化へ向けての事例検討を行います。

#### ウ 苦情受付体制について

苦情処理体制として、所長が苦情解決責任者、各部門管理者責任者が苦情受付担当者となっています。

苦情の解決に至らない場合は、法人委嘱の苦情解決のための第三者委員に報告し、助言をいただくなど、迅速かつ適正な苦情解決に取り組めます。また苦情等の情報を朝礼や所内会議において共有化し、利用者の立場に立った運営を行います。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

地区センターと共同して合同消防訓練を年2回実施します。29年度は、通常の避難誘導訓練に加えて、消防署と協議して、煙を使った、より効果のある訓練としたいと考えます。

また、区と協議してまとめた特別避難場所マニュアルに基づき、26年12月の開設運営訓練を基礎に、非常用発電機の稼働訓練を行い、来るべき災害に備えます。

なお、防犯カメラ4台を有効に活用した防犯対策も実施します。

#### オ 事故防止への取組について

過去の漏えい事故発生を教訓に、マニュアルの見直しを行うとともに、職員研修をさらに充実させて個人情報保護を徹底します。

事故防止マニュアルにより介護事故、送迎事故、感染症事故、情報漏えい事故などを防止する体制をとって対処します。また、朝礼で事故防止を常時喚起し、日常的に事故防止の意識向上を図るとともに、さまざまな会議でヒヤリハット事例を題材とした事故防止策を講じます。

なおリスクマネジメント研修に参加するなど外部研修の情報も収集し、職員間で共有していきます。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報保護については、個人情報保護規定により、所長が統括責任者、各部門管理者責任者が委員となり、毎月コンプライアンス委員会の中で個人情報保護について検討する体制をとっています。そのなかで事例検討などを行い徹底します。

全員研修において一人一人に徹底するとともに、人権尊重が個人情報保護の基調にあることから、同時に人権研修を行い理解の深度を高めていきます。また、朝礼、諸会議で常に注意喚起を行います。

なお、済生会コンプライアンス研修をおこない、組織全体で個人情報保護を含め人権尊重、事故防止、法令遵守の組織風土を構築していきます。

#### キ 情報公開への取組について

能見台地域ケアプラザのホームページなどにおいて、情報を公開していきます。

また、情報ラウンジでの開架で、ケアプラザの事業および責任者の氏名を掲示するとともに、苦情解決のための責任者受付担当者氏名を掲示していきます。さらに苦情解決のための第三者委員の制度を開架し周知しています。

その他、法人の理事会議事録、区への事業実績報告、評価、第三者評価などを開架していきます。

#### ク 人権啓発への取組について

職員の全体研修において横浜市人権啓発基本計画等をテキストとして使用し、人権に根差した職務執行をすることを徹底します。

個人情報保護などの人権関係については、窓口はもとより、ケアプラザのあらゆる活動において、ケアプラザが遵守することはもとより、地域に対しても人権尊重について啓発をしていきます。

#### ケ 環境等への配慮及び取組について

公共施設として良好な環境を維持するため、職員による毎日の清掃のほか、委託による毎月1回の定期清掃。トイレ・廊下は委託による毎日の日常清掃を行います。

外周や緑の維持についても、職員による毎日の清掃に加えて、年3回の植栽の剪定や除草を行っていきます。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

管理者兼看護師（常勤）	1人
社会福祉士（常勤）	2人
主任ケアマネジャー（常勤）	1人
ケアマネジャー（非常勤）	1人（介護予防プランナー）

#### 《目標》

- ・高齢者が、住み慣れた地域でできる限り自分らしく過ごせるように、個別、集団への保健指導を行い、介護予防の普及強化に努めます。
- ・高齢者ひとりひとりのできる力に着目し、実現可能で目標指向型のケアプランを作成します。
- ・介護保険改正による日常生活支援総合事業への移行を踏まえ、利用者が日常生活圏域で利用できる様々な社会資源についても情報提供し、インフォーマルサービスを充実させたケアプランを提案します。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・インフォーマルサービスとして、包括自主事業の体操教室（うきうきクラブ）を月3回開催します。

#### 《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
220	220	220	220	220	220
10月	11月	12月	1月	2月	3月
220	220	220	220	220	220

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者兼主任ケアマネジャー（常勤） 1人  
 主任ケアマネジャー（常勤） 1人  
 ケアマネジャー（常勤1、非常勤2） 3人

《目標》

- ・利用者が住み慣れた場所で、自分らしく自立した生活、質の高い暮らしができる様に支援します。
- ・利用者本意のサービスが提供出来る様に公正中立を守り、保健、医療、福祉の諸サービスを統合し、担当者会議を開催しサービスの質の向上と利用者の意向が十分に反映されたプラン作りを心がけます。
- ・利用者へのアンケートの結果を踏まえて、住まいに関すること、身元保証などについても情報提供していきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・介護支援専門員を育成するため、さまざまな研修に参加し、質の向上に努めます
- ・利用者を取り巻く関連の情報発信をすることで、今後の生活支援につなげます。
- ・利用者様、家族様に、寄り添う支援を心がけます。
- ・認知症の方も安心して暮らせるよう、地域に働きかけます。
- ・24時間対応に努めています。

《利用者目標》 予防は月に33人

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
150	150	150	150	150	150
10月	11月	12月	1月	2月	3月
150	150	150	150	150	150

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 送迎
- 食事

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

1割負担分	2割負担
(要介護1) 703円	1,406円
(要介護2) 831円	1,662円
(要介護3) 963円	1,925円
(要介護4) 1,095円	2,189円
(要介護5) 1,226円	2,453円
●入浴	1割負担 54円/回・2割負担 107円/回
●サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	1割負担 6円/回・2割負担 13円/回
●介護職員処遇改善加算(Ⅱ)	月額総単位の4.3%
●食費負担 750円	

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:30 ~ 16:35

《職員体制》

- |            |     |        |     |
|------------|-----|--------|-----|
| ・生活相談員（常勤） | 3名  | ・介護福祉士 | 13名 |
| ・介護職（非常勤）  | 21名 | ・看護職   | 7名  |
| ・調理員       | 5名  | ・ドライバー | 7名  |
- 勤務体制はシフト制とします。

《目標》

利用者の意欲・能力を維持・向上させ、その人らしく生活していけることを支援するようにサービスを提供します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・利用者の生きがい、楽しみとなる趣味活動、レクリエーションを提供します。
- ・理学療法士、栄養士による身近で健康維持に役立つテーマについての講話を定期的  
に開催します。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
760	785	760	785	785	760
10月	11月	12月	1月	2月	3月
785	760	700	700	700	785

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴、送迎、食事
- 運動器機能向上

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

●	1割負担分	2割負担分	サービス提供体制強化加算
(要支援1)	1,766円	3,531円	Ⅱ-1 24円/回
(要支援2) 週1回利用	1,766円	3,531円	Ⅱ-1 24円/回
週2回利用	3,620円	7,240円	Ⅱ-2 48円/回
●介護職員処遇改善加算(Ⅱ)	月額総単位の4.3%		
●食費負担	750円		

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:30 ~ 16:35

《職員体制》

・生活相談員(常勤)	3名	・介護福祉士	13名
・介護職(非常勤)	21名	・看護職	7名
・調理員	5名	・ドライバー	7名

勤務体制はシフト制とします。

《目標》

利用者の意欲・能力を維持・向上させ、その人らしく生活していけることを支援するようにサービスを提供する。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・利用者の生きがい、楽しみとなる趣味活動、レクリエーションを提供します。
- ・理学療法士、栄養士による身近で健康維持に役立つテーマについての講話を定期的  
に開催します。

《利用者目標(契約者数)》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
20	20	20	20	20	20
10月	11月	12月	1月	2月	3月
20	20	20	20	20	20

平成29年度 「横浜市能見台地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書（一般会計）

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,466,000	0	17,466,000		17,466,000	横浜市より（施設使用料相当額を除く）
利用料金収入	998,400		998,400		998,400	介護保険収入等充当分
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0		0		0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料収入	0	0	0	0	0	
その他（施設使用料相当額）	3,990,000		3,990,000		3,990,000	第3期の指定管理施設のみ
その他（法人負担分）	3,990,000	0	3,990,000	0	3,990,000	第3期の指定管理施設のみ
収入合計	18,464,400	0	18,464,400	0	18,464,400	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,305,000	0	10,305,000	0	10,305,000	
本俸	7,506,000		7,506,000	0	7,506,000	
社会保険料	708,000		708,000	0	708,000	
手当計	1,800,000		1,800,000	0	1,800,000	
健康診断費	20,000		20,000	0	20,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど等
退職給付引当金繰入額	251,000		251,000	0	251,000	
その他	20,000		20,000	0	20,000	共済掛金
事務費	841,000	0	841,000	0	841,000	
旅費	10,000		10,000	0	10,000	
消耗品費	150,000		150,000	0	150,000	
会議ठीい費	16,000		16,000	0	16,000	
印刷製本費	150,000		150,000	0	150,000	
通信費	150,000		150,000	0	150,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	80,000		80,000	0	80,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	30,000		30,000	0	30,000	
職員等研修費	10,000		10,000	0	10,000	
振込手数料	35,000		35,000	0	35,000	
リース料	210,000		210,000	0	210,000	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
事業費	432,000	0	432,000	0	432,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	指定額
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	390,000		390,000	0	390,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	6,062,000	0	6,062,000	0	6,062,000	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	指定額
光熱水費	3,600,000	0	3,600,000	0	3,600,000	
電気料金	950,000		950,000		950,000	
ガス料金	1,050,000		1,050,000		1,050,000	
水道料金	1,600,000		1,600,000		1,600,000	
清掃費	800,000		800,000	0	800,000	
修繕費	474,000	0	474,000	0	474,000	
機械警備費	130,000		130,000	0	130,000	
設備保全費	828,000	0	828,000	0	828,000	
空調衛生設備保守	376,000		376,000	0	376,000	
消防設備保守	50,000		50,000	0	50,000	
電気設備保守	32,000		32,000	0	32,000	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	0	30,000	
駐車場設備保全費	90,000		90,000	0	90,000	
その他保全費	250,000		250,000	0	250,000	昇降機、自動ドア、設備総合巡視点検
共益費	0		0	0	0	
その他	230,000		230,000	0	230,000	植栽管理、ルート回収委託費
公租公課	824,400	0	824,400	0	824,400	
事業所税	0		0		0	
消費税	824,400		824,400	0	824,400	
印紙税	0		0		0	
その他（ ）	0		0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	18,464,400	0	18,464,400	0	18,464,400	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 「横浜市能見台地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書 (特別会計)

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料 (包括)	28,563,000		28,563,000		28,563,000	横浜市より
指定管理料 (介護予防)	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料 (生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入	0		0		0	介護保険収入等充当分
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	0		0		0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他 ( )	0		0		0	
その他 ( )	0		0		0	
<b>収入合計</b>	<b>34,503,000</b>	<b>0</b>	<b>34,503,000</b>	<b>0</b>	<b>34,503,000</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>30,610,000</b>	<b>0</b>	<b>30,610,000</b>	<b>0</b>	<b>30,610,000</b>	
本俸	20,100,000		20,100,000		20,100,000	
社会保険料	3,355,000		3,355,000		3,355,000	
手当計	6,300,000		6,300,000		6,300,000	
健康診断費	100,000		100,000		100,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	705,000		705,000		705,000	
その他	50,000		50,000		50,000	共済掛金
<b>事務費</b>	<b>1,057,000</b>	<b>0</b>	<b>1,057,000</b>	<b>0</b>	<b>1,057,000</b>	
旅費	50,000		50,000		50,000	
消耗品費	80,000		80,000		80,000	
会議滞在費	7,000		7,000		7,000	
印刷製本費	100,000		100,000		100,000	
通信費	120,000		120,000		120,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	100,000		100,000		100,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	60,000		60,000		60,000	
職員等研修費	40,000		40,000		40,000	
振込手数料	100,000		100,000		100,000	
リース料	400,000		400,000		400,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	0		0		0	
<b>事業費</b>	<b>1,224,000</b>	<b>0</b>	<b>1,224,000</b>	<b>0</b>	<b>1,224,000</b>	
協力医	630,000		630,000		630,000	指定額
介護予防事業	151,000		151,000		151,000	
生活支援体制整備事業費	309,000		309,000		309,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	134,000		134,000		134,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
<b>管理費</b>	<b>1,612,000</b>	<b>0</b>	<b>1,612,000</b>	<b>0</b>	<b>1,612,000</b>	
建築物・建築設備点検	0		0		0	指定額
光熱水費	1,029,000	0	1,029,000	0	1,029,000	
電気料金	285,000		285,000		285,000	
ガス料金	313,000		313,000		313,000	
水道料金	431,000		431,000		431,000	
清掃費	200,000		200,000	0	200,000	
修繕費	126,000		126,000	0	126,000	
機械整備費	40,000		40,000	0	40,000	
設備保全費	187,000	0	187,000	0	187,000	
空調衛生設備保守	90,000		90,000	0	90,000	
消防設備保守	10,000		10,000	0	10,000	
電気設備保守	10,000		10,000	0	10,000	
害虫駆除清掃保守	7,000		7,000	0	7,000	
駐車場設備保全費	30,000		30,000	0	30,000	
その他保全費	40,000		40,000	0	40,000	昇降機、自動ドア、設備総合巡視点検
共益費	0		0	0	0	
その他	30,000		30,000	0	30,000	植栽管理、ルート回収委託費
<b>公租公課</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他 ( )	0		0		0	
<b>事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一対対応費			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>34,503,000</b>	<b>0</b>	<b>34,503,000</b>	<b>0</b>	<b>34,503,000</b>	
差引	0	0	0	0	0	

# 平成29年度自主事業計画書

## 横浜市能見台地域ケアプラザ

### 高齢者支援事業

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サロン 「あおぞら」	高齢者の居場所づくりを目的とした、音楽サロン。 音楽の演奏は、ケアプラザを利用している自主団体を始め とした有志のグループ・団体。	1回/月 第2土 10月休
食事会 「にぎやか亭」	高齢者を対象とした会食会。料理は、「男の料理教室」に 参加している、男性ボランティアが担当。 協力：能見台地区連合町内会、富岡西能見台地区民生委員 児童委員協議会、のど越しの会	2回/年 6月・11月 第3土
男の料理教室	男性の地域活動（ボランティア活動）へのきっかけ。 会食会での料理提供、献立・調理の実習等。	6回/年 5,7,9,10,12,2月 第3土
パソコンクラブ	参加者同士による相互学習。生きがい・居場所づくり。 パソコンやタブレットなどをもちより、それぞれ好きな事 を行いながら時間を過ごす。	2回/月 第2・第4木
健康サポート 教室	金沢スポーツセンターと共催。 金沢スポーツセンターからの講師による、転倒骨折予防体 操を実施。	2回/月 第2・4月 祝祭日休
雀の学校	認知症予防を目的とした健康麻雀。 地域の方同士、顔見知りの関係へのきっかけ。	2回/月 第2・第4水 祝祭日休
音読サロン	独居の方を主な対象として、健康維持・介護予防を目的に それぞれ持ち寄った作品を音読（声に出して読む）する。	1回/月 第1火 祝祭日休
うきうきクラブ	運動量に合わせて、自分にあった体操を選んで、無理なく 運動することが出来る、介護予防体操を行う。	3回/月(原則)
介護者の集い	介護者を対象とした情報交換、ピア・カウンセリングの 場。必要に応じ専門家を招き、介護者が必要な情報を提 供。	1回/月 第4木

# 平成29年度自主事業計画書

## 横浜市能見台地域ケアプラザ

### 子育て支援事業

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
にこにこ広場	子育て中の親子の広場。(妊婦、0歳～未就園児) 情報交換・ストレス軽減、交流の場づくり。 ボランティアのにこにこ会による、手遊びや工作などを実施。	1回/月 第3金
のびのび広場	子育て中の親子広場(1.5歳～未就園児) 情報交換・ストレス軽減、交流の場づくり。 ボランティアのにこにこ会による、手遊びや工作などを実施。	1回/月 第1金・祝祭日休
おもちゃ病院	地域のボランティアの協力を得て、子どものおもちゃの修理を受け付けることで、モノを大切にすることを身につけるための場。	1回/月 第3金
親子モバイル 切り絵教室	親子のふれあい支援、ボランティアとの多世代交流の場。 地域活動交流事業のモバイル講座から、自主活動化した団体の協力を得て、親子で切り絵作成を行う。	1回/年 8月3日
親子科学工作教室	小学生の親子のふれあい支援、養育者同士の交流、ボランティア団体との多世代交流の場。 ケアプラザ登録団体、おもしろ科学金沢の協力によりおもちゃの制作教室を実施予定。	1回/年 8月9日
離乳食講座	近隣の地域(地区民児協等)と共催し、離乳食幼児食講座を実施。 子育て世代をターゲットに、地域活動とケアプラザの活動を紹介するきっかけとして開催。	1回/年 実施予定
とことこ共催 事業	金沢区子育て支援拠点「とことこ」と、横浜市能見台地域ケアプラザとの共催で、子育て支援事業を開催。	数回/年
その他子育て支援講演会	子育て支援活動団体との共催にて、地域のニーズにあった講座を企画開催。	1回/年

### 障害児者支援事業

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フリーティード	中・高校生の障害児者の、余暇活動と友達づくりの場。地域ボランティアとの多世代交流の場。 ボランティアの協力を得て、お菓子づくり、体操などの交流をする。	1回/月 原則第4土
区内ケアプラザ 合同サマーフレンド	区内9ケアプラザ合同にて実施する、障害児余暇支援・居場所づくり事業。 ボランティアの協力を得て、体操やレクリエーションをする。	2回/年
ハッピーポップ	フリーティードを卒業した年代を対象とした、障害者余暇支援・居場所づくり事業。 ボランティアの協力を得て、お菓子づくりなどの交流をする。	1回/月 原則第3土
スマイルカフェ	障がいがある子どもの養育者の、くつろぎの場。同じ立場の子育てが落ち着いた世代のボランティアによる情報の交換と交流。本格ドリップ珈琲の提供。	1回/月 原則第4火

# 平成29年度自主事業計画書

## 横浜市能見台地域ケアプラザ

一般・ボランティア支援・連絡会等

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
食品衛生講習会	配食サービスに関わるボランティア、送迎ボランティア、地域の方を対象にした食品衛生講習会。金沢区生活衛生課協力。	1回/年 6月29日
安全運転講習会	配食サービスや送迎ボランティアなど、車の運転に関わる方や、地域の方を対象にした安全運転講習会。金沢警察交通課協力。	1回/年 8月8日
大学生対象ボランティア養成講座	区内9ケアプラザ、区社協、区、横浜市立大学共催のボランティア育成講座実施。	1回/年 4月27日
合同祭	能見台地区センターとの共催事業。ケアプラザの周知・理解と、利用される方々の交流のきっかけ。	1回/年 10月14日
医療講座	エリア内の循環器呼吸器病センターの協力を得て、地域の皆さんの参考になる講座を実施予定。	年数回
手打ちそば教室	そば打ちを通じた参加者同士の関係づくりと多世代交流。ケアプラザと係わりの少ない世代へのケアプラザ周知。	1回/年
防災講座	防災訓練を兼ねて実施。講師を招いて開催する講話とAED演習や煙体験。地区センターと共催。区、消防署協力。	年2回
囲碁サロン	囲碁をきっかけとした、参加者同士の繋がりづくり。	2回/月 第1・第3土
よつば会	手芸が得意な方が集まって、布作品を作ることで地域に貢献する。得意を生かしたボランティア活動の場。	2回/月 第2・第4水

### 各種連絡会

ボランティア連絡会	貸し館登録団体のボランティアを対象とした連絡会。ケアプラザの目的、お知らせの周知等と、グループ・団体同士の繋がりを支援。	1回/年
支えあい連絡会	地域の方々の、支え合いの関係づくりに向けた連絡会。情報交換、啓発のための講座等を実施。	年3回
子育て支援連絡会	能見台地域ケアプラザエリアの子育て広場等の関係者や主任児童委員、ケアプラザの子育て広場のボランティア等との情報・意見交換会。地域の子育て中の親子の情報共有・支援をする。	年3回
施設・学校との連絡会	ケアプラザと、近隣の福祉施設・学校との連絡会。社会実習や福祉教育を円滑に進めるために顔の見える関係づくりや情報共有を行う。 (富岡地域ケアプラザとの共催)	1回/年 6月8日

平成29年度自主事業計画書

事業名 (高齢者支援事業)	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
「あおぞら」 サロン	高齢者	60,000	10,000	50,000	0	60,000	0
	50名/1回						
	100円/茶・菓子						
「にぎやか亭」 会食会	高齢者	85,000	35,000	50,000	10,000	70,000	保険料 5,000
	50名/1回						
	500円						
男の料理教室 ボランティア講座	高齢者	60,000	20,000	40,000	30,000	30,000	0
	10名/1回						
	食材費実費						
パソコンクラブ	高齢者	0	0	0	0	0	0
	10名/1回						
	0円						
健康サポート教室 金沢スポーツセンター共催	高齢者	0	0	0	0	0	0
	30名/1回						
	金沢スポーツセンターが徴収						
「雀の学校」	高齢者	0	0	0	0	0	0
	30名/1回						
	0円						
音読サロン	高齢者	0	0	0	0	0	0
	10名						
	0円						
うきうきクラブ	高齢者	253,500	13,500	240,000	234,000	0	保険料 19,500
	20人/1回						
	1000円						
介護者の集い	介護者	20,000	20,000	0	0	20,000	0
	10名/1回						
	0円						
		478,500	98,500	380,000	274,000	180,000	24,500

事業ごとに別紙に記載してください。

## 平成29年度自主事業計画書

事業名 (子育て支援事業)	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
にこにこ広場	子育て中の親子	25,000	15,000	10,000	0	15,000	保険料 10,000
	20組						
	100円/1回						
のびのび広場	子育て中の親子	25,000	15,000	10,000	0	15,000	保険料 10,000
	20組						
	100円/1回						
おもちゃ病院	子育て中の親子	0	0	0	0	0	0
	45名						
	0円						
親子モバイル切り絵教室	小学生と保護者	1,000	1,000	0	0	0	1,000
	10組						
	団体が徴収						
親子科学工作教室	小学生と保護者	2,000	2,000	0	0	0	2,000
	15組						
	団体が徴収						
離乳食講座 実施予定	子育て中の親子	2,000	2,000	0	0	0	2,000
	20組						
	団体が徴収						
とことこ共催事業 実施予定	子育て中の親子	7,000	3,000	4,000	5,000	0	2,000
	20組						
	200円						
その他 子育て支援講演会 実施予定	子育て中の親子	15,000	10,000	5,000	10,000	0	5,000
	50名						
	100円						
		77,000	48,000	29,000	15,000	30,000	32,000

事業ごとに別紙に記載してください。

事業名 (障害児者支援事業)	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
フリーティード	中・高校生	40,000	26,000	14,000	10,000	20,000	保険料 10,000
	10名						
	2000円/年						
区内ケアプラザ 合同サマーフレンド	小・中校生	10,000	7,000	3,000	2,000	6,000	保険料 2,000
	10名						
	1000円						
ハッピーポップ	青年	50,000	29,000	21,000	10,000	30,000	保険料 10,000
	10名						
	3000円/年						
スマイルカフェ	保護者	70,000	16,000	54,000	0	70,000	0
	15組						
	300円/回						
		170,000	78,000	92,000	22,000	126,000	22,000

平成29年度自主事業計画書

事業名 (一般・ボランティア支援事業)	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
食品衛生講習会	エリアのボランティア	0	0	0	0	0	0
	30名						
	0円						
安全運転講習会	エリアのボランティア	0	0	0	0	0	0
	30名						
	0円						
大学生対象 ボランティア養成講座	大学生	0	0	0	0	0	0
	30名						
	0円						
合同祭	エリアのボランティア	0	0	0	0	0	0
	200名						
	0円						
医療講座	地域の方	0	0	0	0	0	0
	40名						
	0円						
手打ちそば教室	一般	30,000	10,000	20,000	5,000	24,000	保険料 1,000
	20名						
	1000円						
防災講座	一般	0	0	0	0	0	0
	10名						
	0円						
囲碁サロン	一般	0	0	0	0	0	0
	10名						
	0円						
よつば会	手芸ボランティア	0	0	0	0	0	0
	10名						
	0円						
		30,000	10,000	20,000	5,000	24,000	1,000

各種連絡会

事業名 (一般・ボランティア支援事業)	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ボランティア連絡会	貸し館利用のボランティア団体	0	0	0	0	0	0
	50名						
	0円						
支えあい連絡会	エリアのボランティア	0	0	0	0	0	0
	20名						
	0円						
子育て連絡会	エリアのボランティア	0	0	0	0	0	0
	20名						
	0円						
施設と学校の連絡会	エリアの施設・学校	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	30名						
	0円						
		3,000	3,000	0	0	3,000	0

事業ごとに別紙に記載してください。